

**東北地方太平洋沖地震をふまえた
柏崎刈羽原子力発電所の津波対策の検討状況について（続報）**

平成 23 年 4 月 7 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所は、本年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による当社福島第一、福島第二原子力発電所における被害の状況をふまえ、地震発生後、ただちに重要な機器が設置されている建屋の防水性をさらに高めるための改善策を講じてまいりました。

また、現在の想定を超える津波により、全ての交流電源を喪失した場合を想定し、バックアップ電源や原子炉および使用済燃料プールへの注水・除熱機能の確保に必要な資機材を発電所の高台に配備するなど、津波が建屋に侵入した場合に冷却機能を確保するための対策を講じてまいりました。

（平成 23 年 3 月 30 日お知らせ済み）

当所はその後、想定を超える津波への更なる安全対策について、経済産業省からのご指示を踏まえて、引き続き検討を進めてまいりましたが、このたび、原子炉建屋への津波の侵入を防ぐための対策として、1～4号機の各原子炉建屋に、今後新たに防潮壁を設置することといたしました。

これにより、電源設備や非常用ディーゼル発電機などの安全上重要な設備が設置されている原子炉建屋内への津波の浸水を防止し、発電所の抜本的な安全性を確保いたします。

当所は、今後、防潮壁の高さなどの詳細設計を進め、速やかに設置工事を進めてまいります。

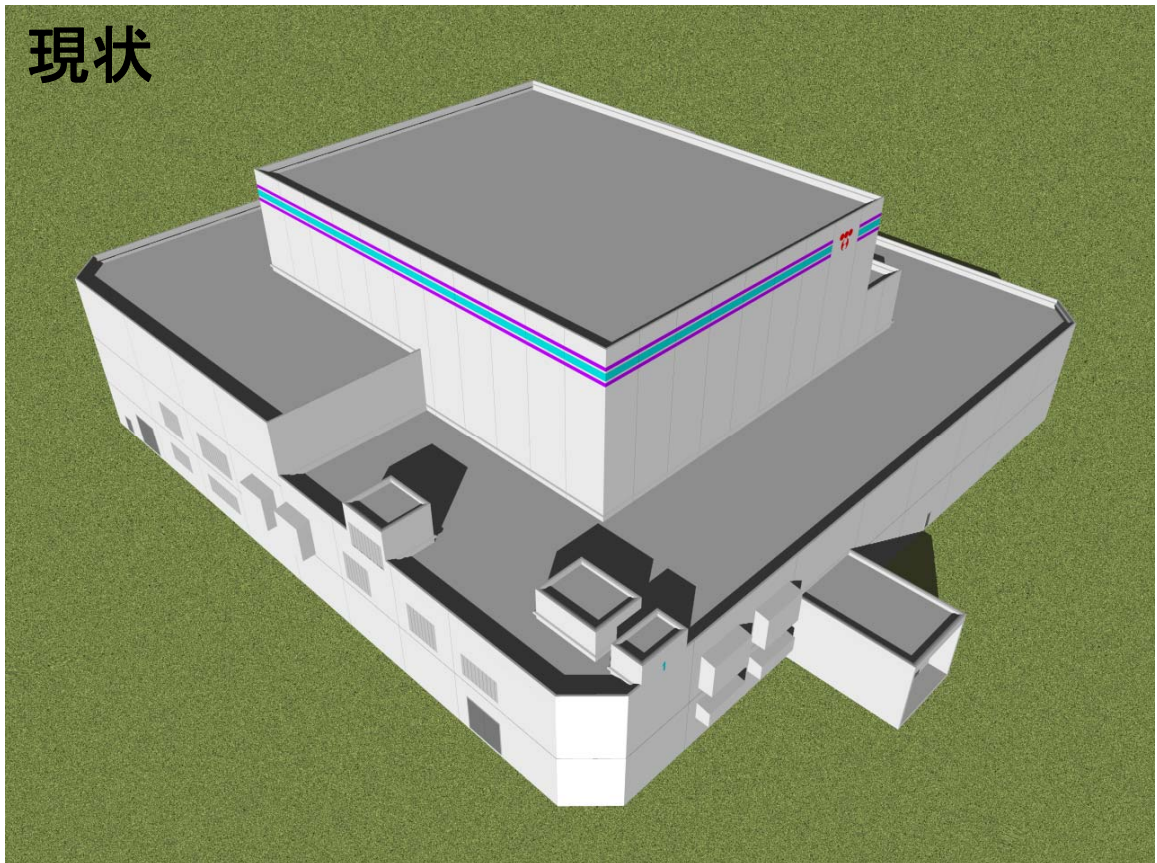
なお、当所は、経済産業省や新潟県からのご指示に基づき、これまでに講じた対策を含めた必要な安全対策について整理・検討し、とりまとめてご報告する予定です。

また、今後、福島第一原子力発電所の事故の状況を分析・評価し、改めて抜本的な対策について検討を行い、更なる安全性の向上を図ってまいります。

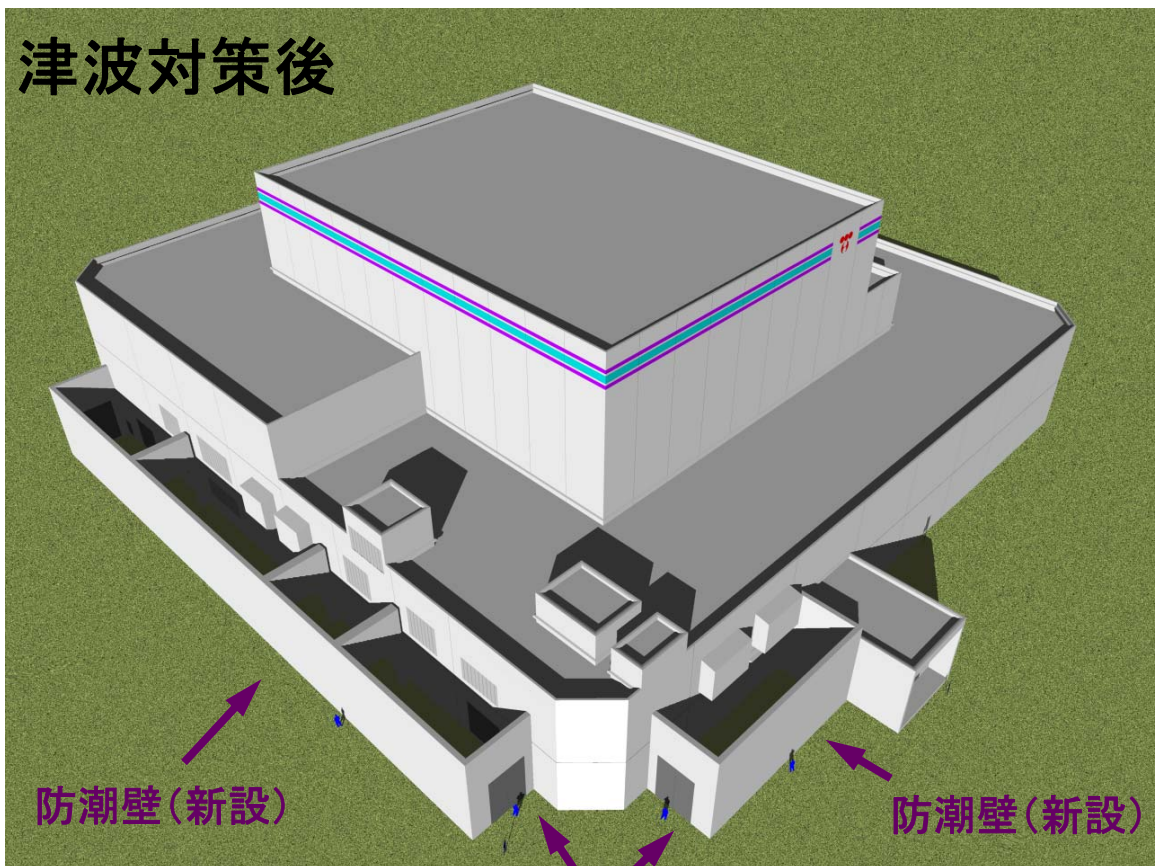
添付資料：柏崎刈羽原子力発電所における防潮壁の設置イメージ

柏崎刈羽原子力発電所における防潮壁の設置イメージ図①

現状



津波対策後



防潮壁(新設)

防潮壁(新設)

防水扉(新設)

柏崎刈羽原子力発電所における防潮壁の設置イメージ図②

現状



津波対策後

